委 員 会 会 議 録

（社）滋賀県トラック協会

会 議 名	第７回 物流ビジョン委員会
開催日時	平成２５年２月１８日（月）　１０：３５～１２：１５
開催場所	滋賀県トラック総合会館　２Ｆ「特別会議室」
出 席 者	委員６名、事務局４名

協　　議　　内　　容

定刻より５分遅れて開会。

開会にあたり岡田会長から、行き過ぎた規制緩和について全ト協の中小事業者諸課題検討委員会で検討を行っており、そこで纏めた意見を中央に訴えているところである。今後、この物流ビジョン委員会では滋賀県トラック協会の組織、事務局体制も併せて検討していきたい。夏頃には協会組織について結論を出し、正副会長会議、理事会に意見具申したいと述べられ、今後、中央に物申す際には引き続きこの委員会でご意見を頂戴したいとあいさつされた。

続いて、田中委員長から、今会長が述べられたように今後、協会組織について検討していきたいのでよろしくお願いしたいと述べられ、議事進行を行った。

（１）国交省・全ト協の動向について

会長から全ト協の中小事業者諸課題検討委員会の検討内容について次により報告があった。

・新規参入については厳しくなる。
・許可の更新制については、Ｇマーク認定制度を整備・拡充して活用し、適正化で言うＥランクは退出の方向。
・運賃料金問題、保有最低車両数の問題については棚上げ。
・今後、引き続き、許可の更新制や業界の多重構造を中心に意見交換を行う予定。
・その他、燃料価格の高騰について自民党トラック議連や経産省にも働きかけ、サーチャージやトリガー条項についても働きかけたい。

続いて、委員長から意見を求められ、概ね次の意見があった。

・　Ｇマーク認定者を全ト協会長から国交大臣に変更出来るのか。国交省貨物課長に確認をしたところ難しいとの回答であったが。

→ 会長から、全ト協の中小事業者諸課題検討委員会では国交大臣の認定は前向きである。今後も訴えていきたい。

・　許可の更新制のためにも、Ｇマークは国交大臣の認定が必要である。この問題は全国の会長の中でもコンセンサスが取れていないのが現状である。

⟶ 会長から、その他、高速道路通行料金や改善基準など様々な問題もあるが、このＧマーク認定者の変更については全国に広めていきたい。
　特に、燃料価格高騰問題についてはトリガー条項やサーチャージ制もあるが、近いうちに県選出の自民党国会議員と懇談の場を持ちたい。

（２）滋賀県トラック協会の将来ビジョンについて

　委員長から、資料２により現在の会長・副会長・理事の選出基準等について説明があり、又現在の内規については原則論で記載されているが、少し現状と合っていない部分もあると述べられた。

　続いて、意見を求められたところ概ね次の意見があった。

・　役員の選出基準については、今年４月からの一般社団法人への移行にも関係が出てくる。

・　今までは各支部から理事候補者を推薦してもらい候補者名簿を作成し総会に諮ってきたが、新法人では協会内部で理事候補者名簿を作成し総会に諮ることになる。

・　次期会長候補者（予定者）は現会長が指名することにしてはどうか。
　次期会長候補者が現会長と協議し、次期会長候補者の意見を尊重し、次期副会長候補者４名を選出する。次期正副会長候補者は支部推薦の理事候補者ではなく、現在の会長のように別枠での理事候補者としてはどうか。

・　湖西支部の理事１名は、支部長も兼務しており関係する全ての会議に出席する必要があり責任が重たいと前回の理事会でも意見があったが、会長からも湖西支部も理事２名体制にしたいとの発言があった。

　以上の意見を受けて、委員長から次回委員会で再度次期会長・副会長候補者選出方法等について確認を行い、年齢、就任期間の制限について検討したい。続いて、会長から協会職員のためにも事務局体制の見直しも行いたいと発言された。

次回委員会開催予定　　平成２５年４月４日（木）１３時３０分～　於：協　会